

インフル エンザは 予防から

問合先 保健センター ☎67♦1151

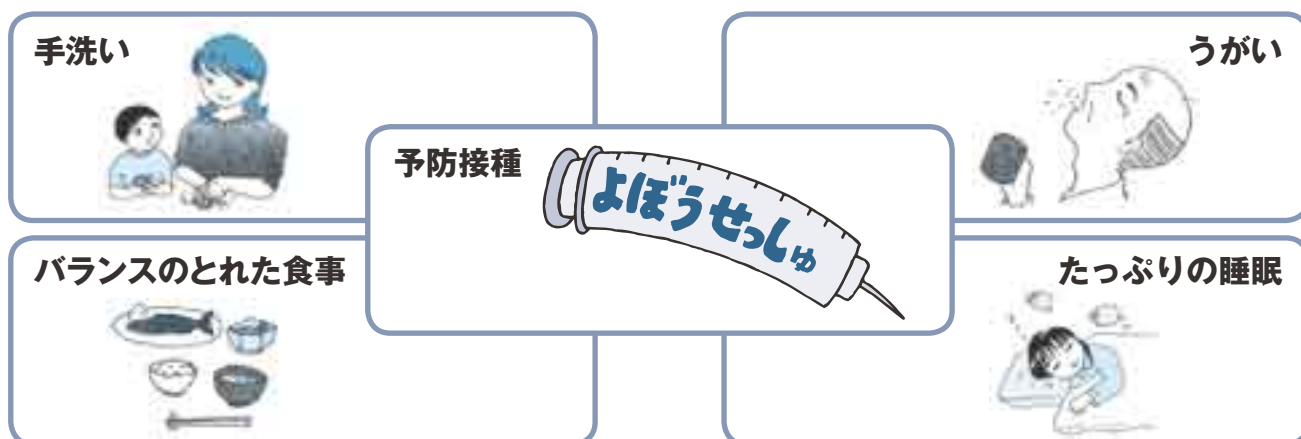
インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染によっておこる病気で、通常、1月から3月に流行します。

インフルエンザの流行が始まると、短期間に大勢の人に感染してしまいますので、かからないように予防に努めましょう。

かぜとインフルエンザはここが違う

	インフルエンザ	かぜ
感 染 力	人から人へと急速に広がる。	徐々に広がることが多い。
症 状	高熱(38～40度)、寒気、筋肉痛などの全身症状。鼻、のどなどにも症状が出る。	主に鼻、のどなどに症状が現れ、発熱を伴うこともある。
経 過	急激な高熱で発症し、全身症状が数日続く。	ゆっくりと経過する。

インフルエンザを予防するには



インフルエンザ予防接種

インフルエンザ予防接種は、インフルエンザにかかりにくくしたり、かかっても重くなりにくくするものです。特に高齢者や幼児、呼吸器・心臓などに病気のある抵抗力の弱い人などは接種をおすすめします。予防接種の効果が持続する期間は約5カ月間ですので、毎年、接種することが必要です。

0歳	医療機関によって接種開始年齢がちがいますので、かかりつけ医に相談してください。0歳児の効果は成人より弱いので、まわりの家族が予防接種をしてうつさないようにすることが大切です。接種費用は自己負担になります。
1歳～12歳	1～4週間間隔で原則2回接種が必要です。接種費用は自己負担になります。
13歳～64歳	一般的には1回でも十分とされていますが、ウイルスの変異や昨年の状況などにより異なりますので、最終的には問診をされるお医者さんの判断となります。接種費用は自己負担になります。
65歳以上 (平成18年 10月10日現在)	1回でも効果があるといわれていますが、本人の持病などにより最終的には問診をされるお医者さんの判断となります。 市内にお住まいの方は1,000円の自己負担でインフルエンザ予防接種(1回)をすることができます。予診票※の質問事項を記入の上、医療機関にて接種してください。(公費負担は1回分のみ)

※予診票・・・対象者(昭和16年10月10日以前に生まれた方)には郵送でお送りしてあります。